

# 赤崎賞に村上さん

## 若手研究者対象 名大で表彰式

松尾学長室から赤崎賞の表彰状を手渡された村上さん（右）  
古屋市千種区の名古屋大で



二〇一四年に「青色発光ダイオード（LED）の発明」でノーベル物理学賞を受賞した、赤崎勇・名古屋大特別教授（名城大終身教授）にちなんだ「赤崎賞」の表彰式が名古屋大であり、同大トランスフォーメティブ生命科学研究所・特任准教授の村上慧さん（三三）に賞が贈られた。松尾清一学長が表彰状を手渡した。赤崎賞は優れた研究成果を挙げた若手研究者を対象に毎年贈られている。

村上さんは、医薬品や有機ELテレビなどに幅広く使われている物質群「芳香族アミン」を、触媒を使って効率よく作る手法を開発。

この手法は触媒に光を照射して反応を促進させることが特徴で、光の照射には青色LEDが使われている。村上さんは「有機化学合成のエネルギー源として、まったく違う分野の青色LEDの技術が役立ったのは、新鮮な驚きだった。自分も赤崎先生のように、幅広い分野に影響を与える研究をしていきたい」と語った。

（坪井千集）